

日頃よりご協力をいただきありがとうございます。後期に入ってすぐに夕顔祭の練習が始まりました。子供たちも特別日課や時間割変更と慌ただしい毎日だったと思います。もしかすると、この時間割変更で、先が見えずに不安になる子や、慣れない場所で慣れない人たちと一緒に準備することに疲れてしまった子いるかと思います。それでも、みんな素晴らしい発表と活動をしていました。その一生懸命な姿にとても感動しました。一步一步、いろいろな経験を重ねて成長していることを実感しています。

今度は、遠足や校外学習があります。それも一つの成長となるよう、しおりを読み込んで先の見通しをもち、荷物だけでなく時間や体調を含めた準備も自分で行えるようご家族のサポートをどうぞよろしくお願いいたします。

通級指導教室 通知表について



これまで、通級指導教室においても前期と後期の最終日に、ステップ教室での学びの様子をお知らせしてきましたが、今年度より、前期で通級を終了した児童は前期終了日に、年間を通して通級する児童のみなさんには後期修了日にお渡しさせていただくことになりました。ご理解をよろしくお願いいたします。

こんな質問がありました！

Q 「やる教科とやらない教科の差が大きいです。やりたくない教科もやるようになってほしいのですが・・・。」

A やりたくない教科には苦手なことがあるからです。



苦手なことになかなか意欲はできません。ですから、「できた」とか「できる」と感じられるような環境を作ることに目を向けてあげたいと思います。例えば、視力が低い人に何の支援もせず「黒板を見て。」と言っても、がんばっても難しいことにモチベーションは上がりません。しかし、眼鏡をかけてははっきりと見えるようになれば、少しずつモチベーションは上がっていくでしょう。

それと同じことが『感覚』という部分で現れることがあります。ざわざわしている音、字を書くこと…がんばれば何とかなるかもしれないけれど、がんばりすぎて疲れてしまい、学校に行くことが「しんどい」になることもあるかもしれません。

感覚の部分なので、医師との相談はもちろんですが、眼鏡のようにイヤーマフもタブレットの利用も、自分は「特別」ではなく、自分に「必要」と当たり前使用前に使用できるようになってもらいたいなと思っています。